

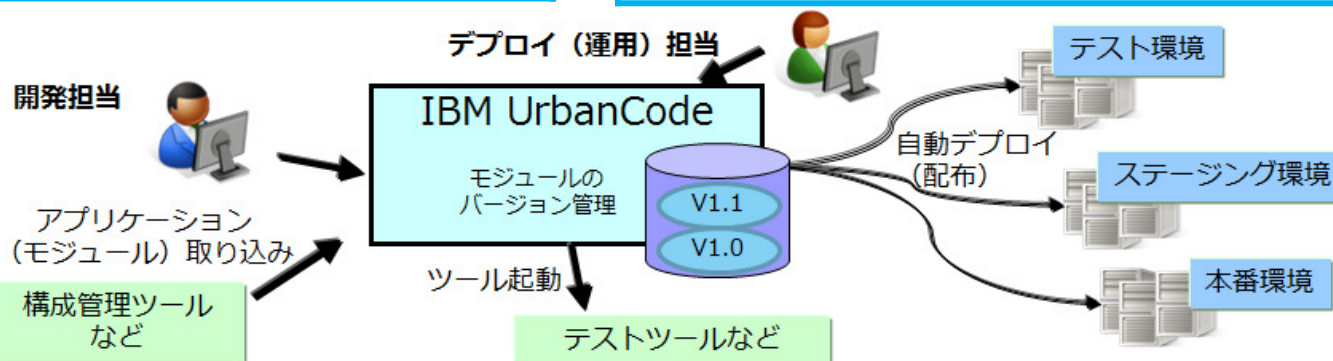
# IBM UrbanCode 適用支援サービス

## お客様の課題／要望

- アプリケーションのリリース・プロセスが複雑であり、リリース・スクリプトの肥大化や属人化がおり、メンテナンスコストがかかっている。
- アプリケーションをデプロイする環境が複数あり、環境ごとに設定・構成が異なるため、手作業による人為的ミスが起こっている。
- リリースに関する権限上の制御や証跡を残す仕組みがなく、誰でもデプロイできてしまう危険性がある。また、その証跡が記録されていない。

## IBMがお勧めする解決策

- IBM UrbanCode は、アプリケーションのデプロイをテスト環境からステージング環境、本番環境へと展開する際のプロセスを自動化し継続的デリバリーを実現します。
- 開発から運用に検証済みで信頼性の高いアプリケーションを渡し、デプロイ・プロセスを可視化してその大部分を自動化します。
- デプロイの結果をプロジェクト関係者へフィードバックし、組織間のコラボレーションも促進します。
- これにより、開発生産性向上（スピードUP）、品質向上（ミス削減）、監査・証跡対応を実現します。



## 期待される効果

- オペレーション・ミスの削減
  - 工数削減（作業時間の短縮）
  - ガバナンス強化  
(デプロイ・プロセスやデプロイ状態の可視化、認証/認可によるセキュリティ向上など)
- ➔ 開発チームから運用チームまでの共通のデプロイ・プラットフォームの活用を通じた「継続的リリース(DevOps)」を実現します。

## ご提供するサービス

- お客様非本番環境へのUrbanCode導入
- ワークショップを通じたUrbanCode利用方法説明、現行方式ヒアリングを通じた利用方法の検討
- プロトタイピングを通じたお客様の非本番環境向けサンプル・デプロイ・プロセスのパイロット実装
- QA対応など技術支援

## 前提条件

事前に対象となるソリューション概要について個別にヒアリングさせていただきます。

## サービス期間及び費用

4週間から。お客様の要件をヒアリングの上、サービス期間および費用についてお見積もりさせていただきます。